

議があり、本格的に取り組みが始まっています。その後、用地問題で長らく時間を費やし、本年ようやく地主との官民境界が確定し、焼肉店とのガードレール設置等の条件も了承され、兵庫県公安委員会で本年度の設置が決定されました。今後のスケジュールは、設計入札が20年内に行われ、工事は1月から3月の間に行われると考えています。

信号機については、平成15年度1基、16年1基、17年に2基、19年1基、20年1基の設置をしています。設置の優先順位は付近の公安委員会が行うことになっており、事故の発生状況、交通量、予算等を勘案して決定されています。琵琶甲の信号機については市も要望していますが、優先順位の決定権等はすべて公安委員会になっており、ご理解いただきたいと思います。

学校統廃合・幼保一元化・民営化問題について

問

後藤千明 議員
学校施設の耐震調査、整備事業について、現在どのような形で進捗しているのか。耐震調査計画が整って、国の補

助申請に手を挙げられたのか。もし統廃合ありきで、残す施設だけの整備計画を立てるつもりであれば、ますます耐震整備がおくれているのではないかと心配するが、どのように考えているか。

幼保の民営化に潜む危険性について、資金繰りがつかず突然保育所が閉鎖されるといった事案、私立独自の教材や制服や行事などの保護者の負担増、補助金の窓口である市のチェック機能の強化、選択肢が減ることや小学校との連携がなくなることにより保育教育の一貫性がなくなり、加西市の少子化政策に欠点が出てくる懸念が生じるところが、どのように対処するのか。

答

耐震については、議会で認めいただいた耐震診断の費用を粛々と執行し、来年の7月ぐらいには結果が出てくるので、それに応じた手だてを、早急に講じていくというような段取りになるだろうと考えます。幼稚園あるいは統合を含めてパイロットスクールは異論もありますが、今の時期に一気に完成に思っており、耐震に絞ってということはありません。

北播磨中核病院構想と加西病院の存続について

高見 忍 議員

問

大学病院側から提案があった北播磨中核病院構想は頓挫したが、小野市と三木市の統合がほぼ合意に達し、加東市にも統合病院への参加を呼びかけたと報道されていた。神戸大学、兵庫県も全面的に協力するとの報道もあるが、現状はどうなっているのか。加西市としてのスタンスはどうか。あり方検討委員会の答申では、加西病院が中核病院となるように進めていくことが望ましいと言われているが、現状は不可能に近い状況で、独自に加西病院の存続に全力を尽くさねばならないと思

うが、その決意は。



答

小野市、三木市の統合を両市長が同意したと20年11月に発表されました。兵庫県も神戸大学の協力表明と加東市への参加呼びかけが報じられています。20年11月20日に臨時の北播磨公立病院協議会が開催され、市長、病院長が出席し、小野市、三木市からの経過説明と意見交換が行われました。加西病院長からは、北播磨全体の医療を崩さない形の統合を進めてほしいという意見も述べられ、小野市、三木市からも北播磨全体の医療の連携や充実を図っていきたいという回答がなされて

平成20年度新規事業について

土本昌幸 議員

問

20年度の新規事業の中で、能力開発を行い市民に役立つための人材育成の一環として、官・学、または官・民連携を含めて職員のスキルアップ事業が計画、実行されているが、スキルアップした判断はどのように行われるのか。研修が終わって終わりなのか、レポートや報告書を出してもらうのか。

答

東洋大学大学院経済学部 研究科の公民連携専攻への就学については調査報告を発表会等で報告をいただき、その結果を研修することとしています。行政に関する事項等について自主的に研究を行う職員、または職員でつくるグループに対